

(別紙)

障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 神奈川県

【基本情報】	
フリガナ	シャカイフクシホウジ`ンホウアンジ`シャカイジ`ギ`ョウブ`
法人名	社会福祉法人宝安寺社会事業部
フリガナ	ホウアンゾ`ミ
事業所名	ほうあんのぞみ
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
就労継続支援B型	
職員数（常勤換算数） 【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
18.9 人	
ICT機器等導入完了日	令和5年12月25日

※行・列の追加は行わないでください。

（1）モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況	
業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って
請求業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って
勤怠管理	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って
シフト表作成	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）
給与業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況				
ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備 考
④インカム	②情報の共有化	KENWOOD UBZ－M31EB 【本体】	10	
④インカム	②情報の共有化	KENWOOD UBC－9CR 【充電器】	10	
④インカム	②情報の共有化	KENWOOD EMC－13 【イヤホン】	10	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

（３）モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D（B×C）	1人あたり 業務時間 (D／業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
②職員間の情報伝達・情報共有	19人	66件	792件	5分	66時間	3時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		66件	792件	5分	66時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※１及び※２については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※１>A、ひと月当たり発生件数の算出方法

遅刻で通所する利用者の所在確認や、個人情報を含む利用種情報の伝達、作業の進捗状況共有などの日々の伝達事項が、月／２２日営業として、日／３回（１人）。

<※２>C、１件当たりの平均処理時間の算出方法

伝えるべき相手を日々配置が換わる作業室から探し、個人情報を含む内容であれば作業室からスタッフルームなどに移り、伝達を済ませ配置に戻るまでの時間一回あたり５分。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D（B×C）	1人あたり 業務時間 (D／業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
②職員間の情報伝達・情報共有	19人	66件	792件	1分	13時間	1時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		66件	792件	1分	13時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※１及び※２については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※１>A、ひと月当たり発生件数の算出方法

遅刻で通所する利用者の所在確認や、個人情報を含む利用種情報の伝達、作業の進捗状況共有などの日々の伝達事項が、月／２２日営業として、日／３回（１人）。

<※２>C、１件当たりの平均処理時間の算出方法

得た情報をインカムで発信し、受信者はイヤホンで聞く。各作業グループにインカム着用者を１人以上配置し、場合によっては作業グループ内で共用する。１分。

年間業務時間数削減率（％）

80.0%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

年間作成文書量削減率（％）

#DIV/0!

（４）ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

日々の情報伝達について、日中活動場所が分かれてしまうことから、タイムリーな情報伝達が難しく、全体共有した方が良い内容であっても一部の職員間で情報共有ののち、割り込みタスクの処理などで、その後の伝達を失念するなどの課題があった。また、限られたスペースの中で、個人情報を守りながら伝達する方法として別室へ移動するなど、現場を手薄にするジレンマがあった。これらの課題から、事業所内会議で良いアイデアが無いか話し合い、インカム導入の提案があったため、全員一致で導入賛成に至った。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果
☐ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。 ☐ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。 ☒ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。 ☐ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。 ☐ 5 その他の効果があった。 ☐ 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

ソフトウェア導入による効果
☐ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。 ☐ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。 ☐ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。 ☐ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。 ☐ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。 ☐ 6 その他の効果があった。 ☐ 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

日々の情報伝達について、日中活動場所が分かれてしまうことから、タイムリーな情報伝達が難しく、全体共有した方が良い内容であっても一部の職員間で情報共有ののち、割り込みタスクの処理などで、その後の伝達を失念するなどの課題があった。また、限られたスペースの中で、個人情報を守りながら伝達する方法として別室へ移動するなど、現場を手薄にするジレンマがあった。これらの課題がインカムを使用することで大幅に改善された。使用する職員の実感としても移動の頻度が減り、情報の伝達漏れも少なくなったと実感している。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

伝達目的での移動が大幅に削減され、現場を離れる機会が減ったことで、支援の目が手厚く確保出来るとともに、作業効率の改善や不良発生の軽減も期待できる。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

（５）ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※１）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※２）	

（※１）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※２）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。